

順天堂医院ニュース 2019 NO.66

あけまして おめでとうございます

新年明けましておめでとうございます。平成の元号が新しくなる年を迎えて気持ちを引き締めるとともに、新しい元号を心身共に健やかに迎えたいと思います。

また昨年は異常気象から全国的に予想外の災害を被りましたが、被災地の復興が進んで安心の再現が得られるのを祈るとともに、被災者や被災者にご関係の皆さまが平穏な毎日を取り戻せることを願っています。さらに年末から乾燥と寒暖の激しい気候不順が続く中でインフルエンザやノロウイルス流行のニュースも聞かれますので、体調管理には十分ご注意ください。

平成31年を迎えて、順天堂医院に課せられた使命は「期待に応える」ということです。まず、受診に際しての利便性を向上させるため、これまで1号館で受け付けていた入退院の窓口をB棟2階に移動させて、さらに手術や化学療法で入院予定の患者さんには合併症予防目的で口腔ケアも同じ場所に対応します。嚥下の力を向上させて肺炎の予防も兼ねた自己の回復力をサポートします。また、特定機能病院として開業の先生方との医療連携強化だけでなく、急性期治療後のリハビリについては専門施設との連絡を密にして患者さんに合った施設と設備を提供していきます。

昨年導入された手術支援ロボット、ダヴィンチXiは多くの診療科で使用を開始して、患者さんへの負担が少なく手術の傷が小さな低侵襲手術で早期回復を確実にしています。

また昨年は高齢者に増加しつつある白血病や悪性リンパ腫の治療を強力かつ確実に進めるために無菌病棟も開設されました。早期の化学療法でも患者さんの期待に応えられる準備は整いました。細胞再生医療についても関節疾患などに効果が拡大しつつあるPRP療法は全国から患者さんが来院され、一時期は受診待ち時間が長くなりましたが、診察スペースの確保などで期待にお応えできるようになりました。

今年もご来院の患者さん全てに安心・安全な医療を提供してまいりますので、ご期待ください。



院長 天野 篤

各記事にあるQRコードを読み込むことで、各診療科および各部署のHPを開くことができます。ぜひ、ご活用ください。



睡眠・呼吸障害センターからのお知らせ

「耳鼻科疾患と睡眠時無呼吸症候群 ～子どもから大人まで～」

耳鼻咽喉・頭頸科

井下 綾子

耳鼻咽喉・頭頸科でみる睡眠時無呼吸症候群（sleep apnea syndrome : SAS）は、鼻やのどが原因の閉塞性睡眠時無呼吸で、子どもから大人まで、すべての年齢層の方を専門にしています。人間は本来、鼻で呼吸をするのが基本ですが、SASの患者さんは口呼吸が習慣となっていることが多く、耳鼻咽喉・頭頸科ではまず、アレルギー性鼻炎、副鼻腔炎、鼻中隔彎曲症などによる鼻づまりの原因、そして扁桃腺などによるのどの閉塞がないかを確認します。必要に応じて、鼻咽腔ファイバー、レントゲン、CT、鼻腔通気度検査、そして終夜ポリグラフ検査（polysomnography : PSG）という睡眠の検査を計画し、SASの重症度を評価します。手術により改善が見込める場合は、鼻やのどの手術をご提案します。

子どものSASは、耳鼻咽喉・頭頸科での治療が主体となります。子どもの1～6%にSASを認め、心身発育に様々な影響を及ぼすことが知られています。睡眠中のいびき・無呼吸の他、おねしょ、寝相が悪い（座って寝ている）、陥没呼吸（前胸部が異常に凹む）などはSASの存在が疑われます。日中の症状として、集中力の低下、居眠り、落ち着きがない、イライラなどに現れることもあります。子どもは自ら症状を訴えることが難しいので、大人がこれらの徴候を把握することが大切です。小児のSASはアデノイド・扁桃肥大によることが多く、手術によって症状の改善が期待できます。手術を受けなくとも、鼻炎などの治療で鼻呼吸を獲得できるようなることで、SASが軽快することもあります。「寝る子は育つ」と言われますが、SASでは成長ホルモンの分泌が低下するために、身体発育に影響を及ぼすといわれています。

いびき・無呼吸、鼻づまり、そしてお子さまの睡眠にお困りの方がいらっしゃいましたら、睡眠・呼吸障害センターまでご相談ください。



麻酔科医は手術の守護神

— 麻酔科医の役割について —

順天堂医院では、新生児から 100 歳を超える高齢者まで様々な病気をもつ患者さんの手術を実施しており、術中の全身管理は麻酔科医が担っています。

さらに麻酔科医は手術を担当する診療科の医師と、術前より最善の手術法や麻酔法を検討協議し、患者さんにとって安心・安全な医療を提供するよう日々努めております（下図：〔麻酔科コンサルト〕参照）。また、より高度な判断が必要な場合には医療安全管理室も協議に加わり、万全の体制で手術に臨んでおります。

患者さんが安心して安全な手術を受けられる仕組みがあること、安全な手術の守護神として麻酔科医がいることをご理解いただければ幸いです。

〔麻酔科コンサルト〕



看護部ニュース

女性専門病棟が拡大オープンしました！

2018年12月、1号館11階B病棟の婦人科病床が、1号館7階B病棟へ統合され、婦人科、乳腺科を主とした48床を擁する女性専門病棟として新たに拡大オープンしました。当病棟には、乳がん看護認定看護師2名に、リンパ浮腫ケア資格を持つ看護師など、女性ならではの病気に対して専門的なケアを提供する看護師が在籍し、医師とタッグを組んでチーム医療を実践しています。また、パウダールームや3つのシャワー室など女性に配慮した設備を整えています。

女性専門病棟に入院される患者さんは、疾患や治療に関するだけでなく、仕事や結婚、子育て、治療に伴う外見の変化などさまざま悩みを抱えていることが少なくありません。そのような患者さんの繊細なニーズを捉え、心身ともに細やかに癒やし、

ケアし、そして自立した療養生活を送ることができるようサポートすることに努めています。そのためには外来から入院までのトータルな連携が必要不可欠です。何かご相談がありましたらいつでも看護師へお声がけください。



パウダールーム



お部屋の設備



入院中の療養生活をサポートします！



順天堂医院 HP
【看護部】

放射線部ニュース

ドパミントランスポーター（DaT : Dopamine transporter） シンチグラフィ

DaT シンチグラフィとは放射線を出す薬（放射性医薬品）を投与して体の機能を調べる核医学検査の一つです。

この検査は主にパーキンソン病（PD : Parkinson's disease）が疑われる場合などの診断に用いられます。

体を動かすなどの頭からの指令は、神経伝達物質が流れることで成り立ちます。

PD は神経伝達物質の一種であるドパミンが不足することで、頭からの指令がうまく伝わらず、手足の震え、動きが遅くなるなどの症状が出ます。

DaT シンチグラフィの薬を体内投与すると、頭の中のドパミン神経の状態を写すことができ、薬の集まり具合で鑑別に寄与します。

当院においても疑わしい症例にこの検査を行い、PD などの診断に役立っています。

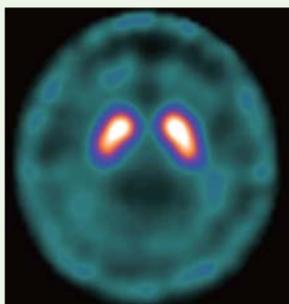
放射性医薬品の体内投与



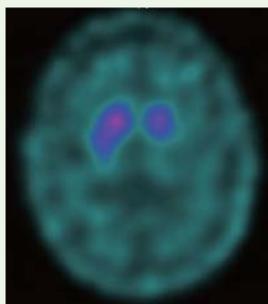
核医学装置による検査



頭の核医学画像



正常例



パーキンソン病

薬の集まりの程度で画像診断に役立っています。



順天堂医院 HP
【放射線部】

臨床検査部ニュース

ヘモグロビンA1c(HbA1c)検査について

●HbA1cとは

HbA1cは、赤血球の中にあるヘモグロビンというタンパク質と血液中のブドウ糖が結合したものです。

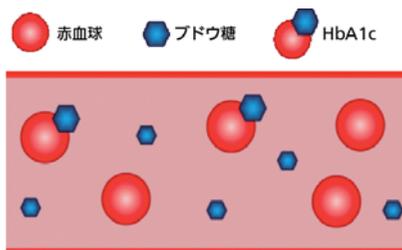


図 血管内のイラスト

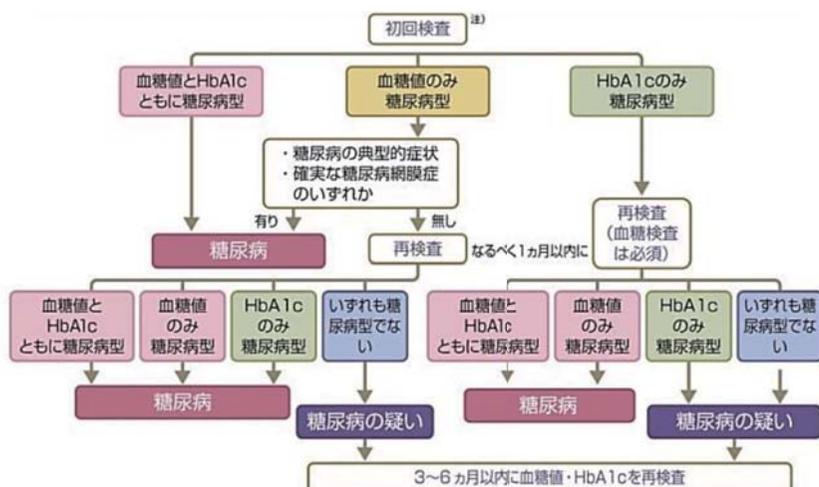
●HbA1c 検査から分かること

- 血液中のブドウ糖の量が多くなると、HbA1c がたくさん作られるため、糖尿病の診断や血糖コントロールの指標に検査されています。
- HbA1c は、赤血球の寿命（約 120 日）と同じ期間、血液中に残るので、採血した日から約 1～2 ヶ月前の血糖値が反映されます。
- 血液中のブドウ糖と併せて検査することでより有効に活用できます。

●糖尿病の診断フローチャート

<糖尿病型>

- 血糖値（空腹時 126 mg/dL 以上、OGTT 200 mg/dL 以上、随時 200mg/dL 以上のいずれか）
- HbA1c 6.5%以上



日本糖尿病学会糖尿病診断基準に関する調査検討委員会：糖尿病の分類と診断基準に関する委員会報告（国際標準化対応版）. 糖尿病 55：494, 2012 より一部改変

順天堂医院 HP
【臨床検査部】

医療福祉相談室ニュース

いろいろな相談先について

どこへ相談したらいいのだろうか？という場合の相談窓口を東京都の情報を中心に、いくつかご案内します。

<経済的なことの相談>

自立相談支援機関 経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方に対して、個々の状況に応じた相談・支援を行う。窓口は各市区町村で、自治体により名称が異なる。

(例：生活困窮者自立相談窓口、暮らし仕事応援センター、暮らしごとサポートセンターなど)

<高齢者についての相談>

地域包括支援センター 高齢者やその家族のための相談支援機関。介護保険の申請なども受け付けている。居住地域ごとに担当センターが決まっている。自治体により名称が異なる。(例：高齢者あんしん相談センター)

<子供についての相談>

子供家庭支援センター 子供自身や子育て家庭からのあらゆる相談に応じる総合相談窓口で、相談支援に加え、子育てサークルや交流会の開催なども行っている。

<女性のための相談>

東京ウィメンズプラザ 配偶者暴力相談支援センターの総合相談窓口として設置されており、配偶者からの暴力などで悩んでいる方などの相談を受けている。電話での相談に加え必要に応じて面接相談も行う。

受付時間：毎日9時～21時まで※年末年始除く (Tel03-5467-2455)

東京都以外の自治体にも同様の相談窓口が設置されています。それぞれの窓口の連絡先などは各市区町村にご確認ください。



順天堂医院 HP
【医療福祉相談室】

(出典)『2018社会福祉の手引』東京都生活文化局発行



薬剤部ニュース

薬剤部 ～製剤課～

薬剤師の業務に「製剤」があることをご存知ですか。

日ごろ皆さんの目に触れることはほとんどありませんがとても重要な業務なのです。

当院の製剤課では主に、販売されていないけれども特殊な医療ニーズに対応する為に必要な医薬品の調製、食事が取れない患者さんの栄養の代わりとなる高カロリー輸液や、抗がん薬の無菌的な調製を行っています。

栄養豊富な高カロリー輸液は、無菌的に、清潔に調製を行わないと菌が混入・繁殖する恐れがあるので調製には細心の注意を払います。



また、抗がん薬は薬の中でも特に取り扱いに専門の技能・知識を要するものです。2人に1人ががんになるといわれる現代、安全かつ、適正に、効果的な治療を受けていただけるよう、抗がん薬の説明や副作用の予防・対処法等の個別相談も行っていきますので、窓口の薬剤師にお気軽にお声かけください。



順天堂医院 HP
【薬剤部】

栄養部ニュース

お酒の適量とは？

お酒を飲む機会が多い時期と思いますが、お酒の適量をご存知でしょうか？

厚生労働省が推進する国民健康づくり運動「健康日本 21」では、適度なアルコール量は、1日平均純アルコールで約 20g 程度とされています。



飲酒の適量は、体重・性別・年齢・アルコールの分解能力の違いなど個人差があり、その日の体調でも異なります。自分の適量と体調を考えてお酒を楽しみましょう。

また、適量とはいえ、毎日の飲酒は肝臓に負担をかけます。週2日は、休肝日を設けましょう。

(肝臓病・心臓病・糖尿病など、疾病のある方は医師に相談し、指示に従ってください。)



順天堂医院 HP
【栄養部】

今日から
はじめる



健康講座

Column vol.07

～腸内環境の改善でインフルエンザ予防～

総合診療科 教授
小林 弘幸



新しい年を迎え、寒の入りを過ぎ、寒さもいよいよ本番を迎えました。この時期は、年末年始の忙しさや寒さのストレスから、自律神経が乱れやすく、免疫力が低下するため、風邪やインフルエンザなど、様々な感染症に罹りやすくなります。免疫細胞は、その60%が腸内に存在し、腸は最大の免疫器官であると言われています。腸内の免疫細胞は、人体に有害な病原菌やウイルスが体内に侵入しないように排除する役割がありますが、この免疫システムは腸内細菌がいないと上手く働きません。さらに、善玉菌、悪玉菌、日和見菌からなる腸内細菌のバランスが良いほど免疫力は向上することが分かっています。悪玉菌が増えて腸内環境が乱れる原因は、偏った食事、運動不足、睡眠不足、便秘などです。

年末年始の忙しさで自律神経が乱れやすくなることも多い時期だからこそ、自分自身の身体に目を向け、体調管理に努めましょう。腸内環境を整えるために、まずは十分な睡眠をとり、適度な運動習慣を心がけることが大切です。朝目覚めたら、1杯の水を飲み、腸を活性化させましょう。また、自律神経を整えて便秘を解消することも腸内環境の改善に有効です。さらに、腸内環境のバランスを良好にするために、ヨーグルト、チーズ、漬物、味噌、納豆などの発酵食品や、野菜、果物、大豆などの食物繊維を多く含む食品を積極的に食べることを意識してみましょう。まずは、手軽にできることから、毎日の健康習慣を見つけてみてください。

順天堂医院の今昔

有山登記念館（7号館）と順天堂

順天堂の本郷キャンパスに新しい研究棟ができる。横断的な中央共同研究体制を確立し、研究のレベルアップを目指す順天堂の、重要な新施設である。2018年12月15日、第一期工事が完成し竣工式が執り行われた。

1838（天保9）年に創立した順天堂は、その長い歴史のなか姿を変えながら発展してきた。今回、残念ながら姿を消した建物に7号館（有山登記念館）がある。第5代堂主の名前を冠した有山登記念館ができたのは1976年。講堂、図書館、食堂を備えた地上3階、地下1階の建物であった。講堂は学内の催しに加え、学会や講演会など幅広く使用され、多くの思い出を残した。

順天堂第5代堂主 有山登は、戦後の順天堂の発展に尽力し、大学院の開設、医学部附属病院の増改築、本郷の施設の拡充・整備、体育学部の開設で健康大学の基盤を築き、看護教育の改革を実践した。現在の順天堂大学の基礎を築いた人である。

ここに有山先生が書いた「不断前身」の色紙がある。これからも順天堂は時代と共に変化し続けるであろう。しかし、有山先生が大切にしていたこの思いは私達の中に息づき、現在も順天堂の理念として引き継がれている。



順天堂大学医学部医史学研究室
特任教授 酒井シヅ

順天堂大学医学部附属順天堂医院
〒113-8431 文京区本郷3-1-3
TEL：03-3813-3111(大代表)

編集 広報管理運営委員会
発行 医療情報センター
病院機能管理室(2019年1月発行)

ホームページ
<http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>

順天堂医院

検索



【順天堂医院 HP】